第51回運営推進会議

グループホームつながり

R4.5.30

登録数15名

男性　3名　　女性　12名

令和　4年	5月	
	前回推進会議時	現在状況
要支援　2	0	0
要介護　1	3	3
要介護　2	2	3
要介護　3	3	3
要介護　4	6	4
要介護　5	2	2
申請中	0	0
合計	16	15

平均介護度
2.9

日々の活動報告

4月・5月

バイタル測定
創作活動
入浴
ラジオ体操
口腔体操
カラオケ

散歩
洗濯物干し
洗濯物たたみ
調理補助
食器拭き
居室・フロア清掃

病院往診・受診
訪問歯科
訪問リハビリ
お花見
防災設備点検

4月の職員研修：感染症対策

- 高齢者様が多く生活する介護施設では、ノロウイルスが集団発生するリスクがあります。 過去の事例から、感染原因や行政処分についてみてみましょう。
- （1）介護老人保健施設で入所者・職員含め105名が発症した事例
- 2007年1月、青森県内の介護老人保健施設でノロウイルスによる集団感染が発覚。職員・入居者・通所者にまで感染が広まり、最終的に105名が発症した。
  原因：施設の盛り付け用調理台からウイルスが検出されたが、その汚染経路は不明。入所者の手洗いが不十分であったことや、職員が嘔吐物処理の際に塩素系消毒薬を使用しなかったことも感染を拡大した一因と考えられる。
- （2）ノロウイルスの集団感染と嘔吐物による窒息死の事例
- 2015年、東京都内の高齢者施設でノロウイルスの集団感染が発生。施設の調理場で作られた食事を食べた入居者のうち16名が、嘔吐や下痢などの症状を訴える。このうち男性1名が嘔吐物を気管に詰まらせて亡くなった。

感染症対策委員が主導で研修を開催しました。感染症についての座学の他、手洗いの仕方・ガウンやプラスチック手袋の着脱・嘔吐物の処理方法など、再確認を含めて学ぶ時間となりました。

5月の職員研修:身体拘束廃止

身体拘束廃止委員が主導となり研修を行いました。

☆映像から学ぶ

自立支援は大事だが声のかけ方は注意必要。

例：トイレ使用時　『はい立って！』『立つ！』
　　義歯装着　　『自分で入れて！』『自分で外して！』
　　職員同士でやってみよう。

（教材の映像を見て職員感想）
自分自身が行っている事があると痛感した。
客観的に見ることが出来て良かった。
〇〇ちゃんという呼びかたは基本的にはいけないが、関係性で
良いケースもある。ご本人が嫌な思いをされていなければ良いと思う。
私も感情的になってしまう事がある。
立ち上がった時に『座っていて！』はいけないと反省。

☆サイドレール2点使用者の見直し
1F：〇〇さんは外して様子をみる。2F:　現在使用している方は継続の必要あり。
定期的に見直す。

気づき・アクシデント　　4月・5月

- **アクシデント　　4件**

内容：M・S　様　5月24日（火）　PM　1:50

M様排泄介助時、便の付着があった為 陰部洗浄用ボトルを取りに行った際、M様が便座から立ち上がり転倒されてしまいました。職員がすぐにうかがい、痛みの有無・傷の確認等行いましたがどちらもなく、血圧チェックを行いました。　　BP154/74　P77

⇒ その後痛みも出ず・傷も見られませんでした。今後、自分がその場を離れる際は他職員と協力し、見守りを強化する事としました。

- **気づき　　16件**

内容：M・K　様　4月23日（土）　AM 7：40

左手の親指付け根あたりが腫れていることに気づきました。原因は不明。強めに押すと痛みがあるようなので湿布を貼付し様子を見ました。☞　その後改善。

R・S　様　5月23日（月）　AM 6：45

職員が 訪室すると窓枠の部分に立っている。『どうしたんですか？危ないですよ』と声をかけると『この目線から何が見えるか見てみたかった』と仰る。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為会議は休止しております。
グループホームつながり
☎ 055-970-2938